

自閉症児の心理臨床 ～ 共同世界のつなぎ手となるセラピストの役割～

今回は自閉症児の心理臨床を考えます。前半は、米国におけるマルチディシプリナリーチームによる自閉症児の支援のあり方を久保信代先生からご紹介いただき、後半は、日本の公的機関での支援事例を通して、臨床心理士の立場から実践できることを検討したいと思います。

「このクライアントにとっての“しあわせ”とは？」を問い続けてきた久保信代先生と共に、自閉症児のしあわせにつながる真の援助について考えを深めたいと思います。

講師：久保 信代 先生

関西福祉科学大学、心理・教育相談センター専任講師

プロフィール:

国際基督教大学教養学部教育学科卒(専攻:心理学)

Lesley College Graduate School 修了

1992年～1998年、アメリカの自閉症児教育プログラムにて、幼児から成人までの支援に関わる。帰国後、その知見を基に臨床活動に従事。現在、発達障害児への治療教育、プレイセラピー、当事者や家族に対する臨床活動、教育関係者へのコンサルテーションやセミナー、発達障害児養育者へのペアレント・トレーニングを行っている。

- 🍒 日時：4月10日(日)14:00～17:00(受付13:45～)
- 🍒 場所：尼崎 ホテル「ホップイン」アミング
- 🍒 対象：臨床心理士 および 教育,医療,福祉等の関係者
- 🍒 定員：15名 (先着順)
- 🍒 参加費：一般4,000円 学生3,000円

お申込み

office1102@saitokodomo.com

名前・所属・メールアドレスをご記入の上、上記アドレスまでお申し込みください。

詳しくは下記ホームページに掲載予定

<http://saitokodomo.com>

大阪彩都心理センター

アクセス



★所在地

〒661-0976

兵庫県尼崎市潮江1丁目4番1号

電話 06-6491-0002 (代表)

FAX 06-6491-8575